

令和7年5月7日

～ 令和7年度福島市総合防災訓練を実施します ～

今回の訓練は、大型で強い台風が接近し、大雨により洪水及び土砂災害発生の危険性が高まった状況を想定して実施します。

市内の小金山及び周辺の土砂災害警戒区域内の住民と阿武隈川流域の浸水想定区域内の住民が、今年3月に新たに開設された市民センターへ避難し、その後避難所運営訓練を行います。

また、信夫ヶ丘緑地公園ではライフライン関係機関による応急復旧訓練や消防(消防団を含む)・警察・自衛隊・D-MATによる救出救助訓練に加え、能登半島地震の教訓を踏まえた地元自主防災組織による応急救護、さらには土のう作成から設置までの水防対応訓練など、新たな訓練や展示なども取り入れ実施します。

記

1 日 時 : 令和7年5月10日(土)午前8時～11時30分

2 地 区 : 中央東地区

3 会 場 : 市役所庁議室兼防災対策室、市民センター、信夫ヶ丘緑地公園

4 内 容 : 訓練時間、訓練場所については別紙参照

5 訓練の中止について

(1) 前日の午後5時以降、福島市に「気象警報」が発表されるか、震度「5弱」以上の地震が発生した場合は訓練を中止します。(震度4の地震発生時は、対策を取りながら訓練を実施)

(2) 訓練を中止する場合、福島市防災ウェブサイトでお知らせします。

URL <https://bousai.city-fukushima.jp/>



担当:危機管理室防災係
室次長 小林、室次長補佐兼防災係長 小澤
電話 024-525-3793(直通)

令和7年度福島市総合防災訓練表

※赤字は、新たな取り組み

時 間（場 所）	訓練項目	訓練概要
8:00～8:30 (市役所4階庁議室兼防災対策室)	・災害対策本部設置訓練	災害対策本部においてリエゾンなどと連携し、被害情報収集と情報共有を行う。 市消防本部所有のドローンによるライブ映像（孤立集落想定）で現場の確認を行う。
8:30 (市役所4階庁議室兼防災対策室)	・緊急速報メール配信訓練	緊急速報メール（エリアメール）の配信を行う。
8:30～8:45 (中央東地区)	・避難情報伝達訓練 ・避難広報訓練	町会等連絡網により町内会全世帯に避難情報を伝達する。 広報車両（警察、消防団、市広報車）などにより避難情報の広報を行う。
8:45～9:10 (市民センター)	・住民避難訓練 ・避難誘導訓練 ・福祉施設避難訓練	地域住民が新たな避難所「市民センター」へ避難する。【100名以上が参加予定】 福祉施設（腰の浜会館、エルフィリア）が施設計画に基づき避難訓練を行うとともに、一部の利用者（避難行動要支援者）が福祉車両で避難所となる市民センターへ避難する。
9:10～9:30 (市民センター)	・避難所開設訓練	市職員と避難住民が協力し避難所を開設する。 避難所受付のデジタル化に向けた実証実験（QRコード活用）を実施。
9:30～9:50 (信夫ヶ丘緑地公園)	・応急復旧訓練	東北電力ネットワーク、福島ガスによるライフラインの応急復旧訓練、JAFによる車両排除訓練を行う。

9 : 5 0 ~ 1 0 : 5 0 (信夫ヶ丘緑地公園)	・ 救出救助訓練	消防、警察、自衛隊、D-M A T が連携し、土砂崩れにより倒壊した家屋や車両等から住民を救出する。 高台へ避難し取り残された住民を想定し、福島県消防防災航空隊のヘリコプターが吊り上げ救出を行う。
1 0 : 5 0 ~ 1 1 : 1 0 (信夫ヶ丘緑地公園)	・ 水防対応訓練	参加団体が協力し土のうを作成し、設置する。
9 : 0 0 ~ 1 1 : 3 0 (信夫ヶ丘緑地公園)	・ 防災関連機関による展示	熱中症対策 PR (市の取組、スポットクーラー&ミスト扇風機体験)、 自衛隊高機動車体験搭乗、国交省排水ポンプ車、起震車、日産 EV 車、 給水車、警察車両、NTT 移動基地局車、電源車、オフィスカー、簡易 トイレ、防災用品、災害用資機材、普及啓発パネル など 【展示協力機関】 陸上自衛隊第 4 4 普通科連隊、福島河川国道事務所、福島地方気象 台、福島警察署、NTT-東日本、ドコモ CS 東北、ニューメディア、ア クティオ、福島ガス、ダイユーエイト、日産自動車、ガスパル東北、 福島市消防設備協会、上下水道局、消防本部、危機管理室
1 1 : 2 0 ~ 1 1 : 3 0 (信夫ヶ丘緑地公園)	・ 訓練終了式	